

山行報告書

京都田辺山友会

報告者 木田

山名	那須岳、男体山、赤城山	山行名	例会
ルート	那須岳(1泊2日) → 男体山 → 赤城山		
山行日	2024年10月15~18日	天候	晴,晴,晴,曇のち雨
参加者	CL:木田 SL:蒲田 和田、大西、蒲田、佐々木、藤井、木田 女性3名、男性3名 計6名		

那須岳ルート概略図



10/15~16 那須岳 コースタイム

地名	発着	時:分	地名	発着	時:分
県営駐車場	着		朝日岳	着	9:40
	発	7:00		発	9:50
峯ノ茶屋跡	着	8:10	峰ノ茶屋跡	着	10:35
	発	8:30		発	10:50
三斗小屋温泉 煙草屋(宿泊)	着	10:00	那須岳 (茶臼岳)	着	11:35
	発			発	11:40
10/16 三斗 小屋温泉煙 草屋	発	7:20	峰ノ茶屋跡	着	12:25
				発	12:40
隠居倉	着	8:20	県営駐車場	着	13:20
	発	8:35		発	13:40

男体山ルート概略図



10/17 男体山 コースタイム

地名	発着	時:分	地名	発着	時:分
志津峠	着	7:25		着	
	発	7:35		発	
男体山	着	10:50		着	
	発	11:45		発	
登山口	着	15:50		着	
	発	16:10		発	
	着			着	
	発			発	

赤城山ルート概略図



10/18 赤城山 コースタイム

地名	発着	時:分	地名	発着	時:分
檜山登山口 駐車場	着	9:30	檜山登山口 駐車場	着	14:20
	発	10:00		発	14:40
猫岩	着	10:20		着	
	発	10:20		発	
黒檜山 (赤城山)	着	11:45		着	
	発	12:00		発	
猫岩	着	13:45		着	
	発	13:45		発	

10/15-16【那須岳】(蒲田)

15日朝7時、峠の茶屋駐車場を出発。樹林帯を抜けると茶臼岳がどーんと現れる。曇り予報だったのに、快晴！翌日歩く山々の稜線が青空の下くっきり見える最高の景色。峠の茶屋から下り、宿泊予定の三斗小屋(煙草屋旅館)へ。予定より早く到着し、歴史ある温泉を楽しむ。16日、隠居倉、朝日岳へ。曇りでも眼下に色とりどりに紅葉した山が広がる。強風の中朝日岳登頂。そこから峠の茶屋へは鎖が続く。前日下から見ても岩々の山だったよなあと再認識。慎重に下る。茶臼岳山頂からはロープウェイで下山予定だったが、強風のためロープウェイが止っていた。そこで山頂をピストンすることに。山頂もお鉢まわりも霧の中。しかし下山時は霧が晴れて、ススキの向こうに広がる紅葉した山肌が美しかった。

YAMAP 距離:11.2km、時間 9:09 累積標高差上り997m/下り997m

10/17【男体山】(木田)

男体山登山者の多くは、二荒山神社(ふたらさんじんじゃ)登山口からのピストンだが、難易度が低い志津峠からの縦断コースにし、峠まで宿の車で送ってもらう。余り利用されていない登山コースは、熊笹が繁り鬱蒼とした森林のなかを会話ができるほどゆっくりとしたペースで登る。山頂には4m近い剣が天に向かって立っている。山頂からは雲海の向こうに、前日に登った那須の山々、明日登る赤城山、日光白根山、燧ヶ岳は、もちろんのこと、遠く富士山も遠望することができた。

下山道は大きな岩石がゴロゴロと散乱している難路で思っていた以上に時間を要したが、大幅な遅れにならずに二荒山神社登山口の駐車場へ無事に下山する。

YAMAP 距離:7.5km、時間 8:20 累積標高差上り737m/下り1246m

10/18【赤城山】(和田)

午後から雨予報。登山口からカッパを着込み、予想外の直登で石の多い登山道を登り始める。大沼が見えるはずの猫岩からの眺めはゼロ！雨で景色も見えず頂上を目指してひたすら岩の道を登り、山頂に着いた時は「赤城山」の立て札に曇った中でも顔がほころぶ。下山の予定コースタイムは余裕をみて1時間半程度と考えているが、雨にたたられて岩の多い道が滑りやすく、前日の男体山の疲れも残っていたのか、超ゆっくりペースで予想以上に時間を費やした。登山口の道路が見えた時にはほっとした。全員ずぶねれだった！

YAMAP 距離:2.4km、時間 4:33 累積標高差上り465m/下り465m

ヒヤリハット

那須岳峯ノ茶屋跡避難小屋で休憩中に小屋の裏から周辺の山を展望していたが、それを見失ったFさんが、他のパーティーを追いかけてはぐれてしまう。ほんの1~2分の出来事で先に見えるパーティーを追いかけて発見し事なきを得る。

感想

藤井

素晴らしい紅葉と先輩諸氏でした。がしかし、反省点をふたつ。

①初日に皆さんとはぐれてしまう。

途中、服を脱ぐため遅れてしまいました。前方をみるとグループの皆さんはいらっしゃいません。しかし他の登山者が沢山歩いている。私はその多くの登山者の中にグループの皆さんもいらっしゃると早合点。地図も確認せず猛スピードで後を追っかけます。100mぐらい行っても、見当たりません。流石におかしいと思い、引き返す時、グループのCLさんに発見されてしまいました。反省点は、グループを決して見失わない事が鉄則です。

②膝が笑う。

男体山の下り。長〜い下りです。いつまでも下るので私の膝に力が入らなくなりました。もともと股関節が固く、下りは苦手でしたが、こうも下りが続くと膝も硬いことを痛感できます。下りは後ろ向きで降りると楽なんだと痛感しました。反省点は股関節と膝のストレッチが重要必要で毎日行うようにします。

以上 新人・初心者・高齢者の藤井でした。



大西

名湯のある名山と称される那須連峰に行ってきました。まずは朝日岳中腹にある三斗小屋温泉を目指して出発。 激しく噴煙をあげる山腹と沢筋まで下って上るのをくり返すルート、意外にきつく足の重さを時おり感じながら温泉宿「煙草屋旅館」に到着。 宿場町の雰囲気に残る場所にランプの宿の風情を味わえるそんな宿でした。 絶景露天風呂に入り至福の時間を過ごさせてもらった山行一日目となりました。

【参考情報】

- ①那須ロープウェイは、強風で止まることを想定する。
- ②日光で宿泊は、登山者向き対応の「山の宿 すぎもと館」が良かった。志津峠への送迎あり。
- ③皇海山登山口の「足尾の宿 かじか」の温泉は超お勧めです。



茶臼岳（那須岳）



朝日岳



三斗小屋温泉
煙草屋



朝日岳山頂



男体山山頂



男体山山頂の剣



赤城山山頂にて